



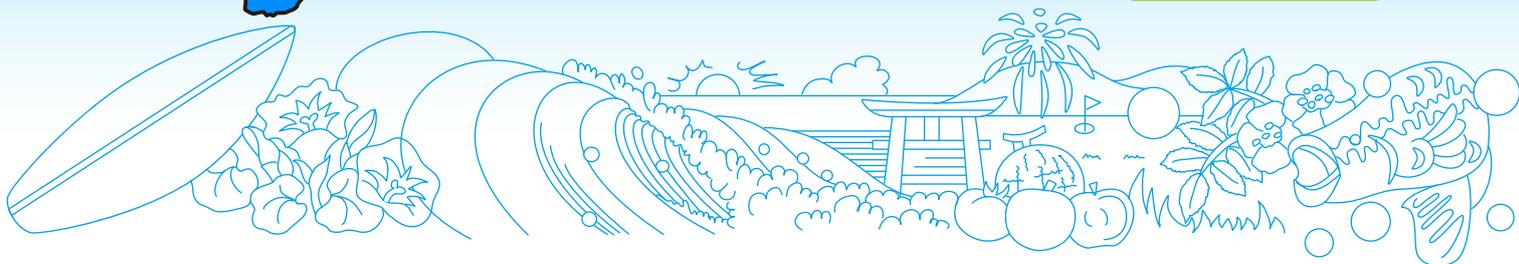
# ICHINOMIYA



## Clip

千葉県一宮町の  
ライフスタイル 紹介サイト

ブック版



<http://ichinomiya-iju.jp/>

千葉県長生郡一宮町役場 まちづくり推進課(直通)  
一宮町移住定住相談窓口

☎ 0475-42-2113

〒299-4396 千葉県長生郡一宮町一宮2457

# イチオーシー宮町

一宮町はどんなところ？

「海・暮らし・歴史」町の特長をまとめました！



## 海

おもいっきりサーフィンする！

レベルやスタイルに合わせて選べる  
表情のちがうサーフポイント！

年齢も国籍もさまざま… でも、みんな海が大好きです！

## 歴史

通りの奥に一步踏み込むと、そこには歴史が・・・  
玉前神社を中心に伝統と歴史残る町です

文豪 芥川龍之介 が夏を過ごした町  
大正3年と5年(1914, 1916年)の夏に一宮に滞在し、  
後の妻・塚本文にラブレターを書いたことが知られています。  
手紙は現在文学碑に刻まれ毎年碑前祭が行われています。

現在も続く酒醸家も 東浪見小学校も  
伝統を重んじ、未来へ繋げる  
そんな文化が根付いています

## くらし

町のお医者さんはしっかりあります！  
町内には、医院9施設、歯科医院7施設 があります

少人数だけど元気いっぱい！小学校  
「お誕生日会を開いたら、クラスの全員が集まっちゃった！」  
「カブトムシを捕まえたり、海で貝拾いをしたり、毎日が冒険！」  
子供たちの笑顔がキラキラ

朝がちょっと早くても楽々通勤のワケは  
JR上総一ノ宮駅は、通勤快速始発の駅です

日用品のお買い物は商店街やスーパーマーケット  
衣類や雑貨は海岸通りでトレンドを逃さない！  
産直所の新鮮野菜が当たり前

車でお買い物定番だから、重たい荷物も気にならない

## この町のこの人



一宮町に暮す方々にインタビュー！  
町の魅力や暮らしのこだわり、困ったことや気が付いたこと  
など、さまざまな角度から質問してきました！

Vol.01 ほんとにいいことばかり！  
のびのびチャロと一緒に景色を楽しみお散歩しています！

Vol.02 一宮の自然を見つめて30年余り、毎日新しい発見の連続  
研究からアートへ夢フィールドは広がります

Vol.03 田んぼの中のコーヒー豆屋さん  
アロハのところで商売も繁盛！

Vol.04 サラリーマンから農家に  
無農薬栽培の田んぼと畑で土と遊んでいます

Vol.05 仲間といっしょに子育てサークル  
今しかない“ママライフ”を楽しんでいます

Vol.06 “サーフィンが好き”理由はそれだけ  
好きなサーフポイントの近くに暮らし家族のびのびです！

Vol.07 アトリエ付きの家で創作に没頭 目的をもって暮らすから  
田舎くらしは充実するのです

Vol.07 海風を感じながらゆっくり、のんびりリラックス  
気分はハワイアン！

Vol.09 夢かなって海に見えるカフェバー経営  
最高のローカルスタイルを楽しんでいます

Vol.10 定年までの8年間 東京への電車通勤  
座って寝て行けて最高でした！ここはいい！

Vol.11 豊かな自然が子どもの心を育みます  
悠々自適のちょうどいい田舎暮らし

Vol.12 知識と経験で地元農業を引っ張る若手農家は  
レゲエDJマンでもある

Vol.13 グラチャン プロサーファーは  
生まれも育ちも 生粋の一宮っ子

Vol.14 サーフィンと音楽と友達と  
それだけで充分 シンプルライフ



ほんとにいいことばかり!  
のびのび  
チャロと一緒に  
景色を楽しみ  
お散歩しています!

田舎暮らしを楽しむ



Published : 2011.08.30

お名前 : H.Nさん 40代 主婦  
ご家族 : N.Nさん 40代 会社員  
愛犬(柴犬・♀)1才4ヵ月  
一宮町人 : 2010年8月～  
先住地 : 東京都江東区

## 移住を考えたきっかけは？

引っ越すまでは、夫婦二人とも会社勤めをしていたため、通勤に便利な江東区のマンションに住んでいました。ある日、勤めの帰りに立ち寄った本屋さんで手に取ったのが建築家・馬場正尊(ばば・まさたか)さんの『「新しい郊外」の家』(太田出版)という本でした。その本は“房総(一宮)と東京の2拠点の生活をする”という内容で、週末はこちらで過ごしてもいいし、特急「わかしお」もあるので通勤も可能だと…。 “そうか、こういう暮らしもあるのか”と、“田舎暮らし”という言葉が急に現実のものとなった瞬間でした。

## 一宮町について 以前から情報はありましたか？

いえ、全然ありませんでした。千葉県出身なのですが、あまり知らなかったです。ただ、海のそばの田舎で、それと一戸建ての大きな家で…実際はそんな大きくはないのですが…のびのびと静かなところで暮らしたい、というイメージだけでした。いろいろと(物件を)見に行きましたが、ここが売り出しになるというのを聞いて決めました。波の音が聞こえていいねって。

## 他に検討した場所、 一宮に決めた訳は？

私たちの出身は千葉県なので船橋にある夫の実家の土地に家を建てるという選択肢もありました。

しかし住宅地という環境はとても“ゆったりのんびり”という希望からはほど遠い。どうせなら海の近くのリゾート暮らしがしたいと葉山の方も見に行きましたが、道は狭くゴチャゴチャしていて混んでいるし、土地も10倍位高い。

そこで、“静かで、涼しくて、土地も安い”というこの房総の地、一宮町に決めました。

## 片道2時間の通勤は？

一宮町での暮らしがはじまって、気にかかったのは夫の通勤でした。朝7時53分、JR上総一ノ宮駅発・東京駅行きの「特急わかしお」に乗って行きます。座って新聞や本も読めますし、もちろん眠ることもあるそうですが、東京駅までは約1時間、そして乗り換えて品川まで。ドアtoドアで約2時間の行程です。

最初は、“夫の通勤がちょっと無理かも”と思い、東京のマンションを維持していました。しかし、いざ引っ越してみたら一度もマンションに帰ることもなく、結局半年ほどでマンションは手放しました。

## 休日の楽しみ方は？

夫の趣味はトライアスロン。泳いで、こいで、走ってというあの“鉄人レース”です。この辺りはプロの方も走っているのですが、バイク(自転車)で走るのがとても楽しいと。今度、蓮沼のマラソン大会に出るとか、「ツール・ド・ちば」にもいつか出たいと言っていましたね。

私は、週に一度趣味のゴルフレッスンに通い、毎日ワンちゃんの散歩、無農薬の家庭菜園で野菜を育て、ハーブ畑を作り、庭の雑草とも格闘し、たまに健康のための乗馬も…。

ゴルフも乗馬も東京に比べれば驚くほどお安く楽しめます。

ハーブ畑も自分でやろうと思っていたのですが、最初から全部自分でというのは大変なので、地元いすみのプレジャーガーデンのデザイナーさんに頼み、ある程度作っていただきました。草取りや芝生の管理というのも結構時間がかかるので…でも、“それがやりたくて越して来たんだろ”って夫にいわれて、…がんばってやっています(^\_^)。

## 食品への意識が高いですね。

野菜などは地元の無農薬栽培の農家の直売所(大澤さんの「菜鮮箱」)で買っています。

東京では自然食系のお店で買ったりして

いたのですが結構お高い。それに比べるとこちらは驚くほど安いです。しかもおまけまでしてくれたり。大澤さんの玉子を食べたら他のはもう食べられないですね。

## お野菜以外のお買い物などは？

その他のお買い物は町内のスーパーで。お魚もお肉も新鮮で充実していて全く困りません。それに百貨店がないので無駄遣いが減ります。

本は町の図書室でお願いすればすぐに取り寄せていただけるので助かってます。お洋服は、パタゴニアも出来たので不自由することもなく、それなりのものが手に入ります。

東京ではペーパードライバーだったので、一宮町に来て1ヵ月程は自転車を交通手段としてやってみました。ちょっと大変でしたね。

犬の病院とかもあるので軽自動車に乗ることに。そしたらいろいろなところに行けるし、まさかこんなに自動車を運転する生活になるとは思っていませんでした。



## お気に入りのポイントはありますか？

犬の散歩でいろいろなところに行くので、海辺はもちろん、夕日に照らされた田んぼの風景や、一宮川の水面が反射してきれいだな〜とか、風光明媚といいますが、それほど大げさじゃないにしても、川があって海があって、洞庭湖の方に車で行けば山もあって。

静かで、星もきれいだし、とにかく空気もいいし。こちらの夜はクーラーなんか全然いらないので、体にもイイですし、節電ですしね。



## 何か心配なことやご希望はありますか？

ちょっと心配なのは、急病の時の態勢です。病院の情報とか口コミに頼っています。ドクターヘリを含め、急病時の体制が分かると安心できます。介護施設の情報もあるといいですね。

JR上総一ノ宮駅にはエレベーターがなく、お年寄りや体の不自由な方には大変だなと思っていましたが、ようやくエレベーターが付くらしいですね。(町からの解答

:2011年12月に完成)

あとは、駅の東口にも改札ができるとう助かります。

無農薬とか減農薬に関心をお持ちの方も多と思うので、町で活動している方々や情報がわかりやすいといいですね。

海辺近くにドッグランがあると嬉しいです。観光で来る人もペット連れの方も多から。

それと地震や災害時の避難場所など、もっと分かりやすく明確になるとありがたいです。

## この町の魅力は？

ウチの犬は大人しくて人なつこいのです。お陰で、ご近所の方とはすぐに知り合いになりました。タケノコのお裾分けがあったり、ご近所付き合いも自然な感じでさせていただいています。

こっちは、大人も子どもも会った人には誰でも挨拶するのですよ!とてもいいことだなんて思います。親切な人が多いです。

## 移住をお考えの方に ひとことお願いします。

もし、移住を迷っているくらいなら、とにかく来てみて住んでみてください!

ほんとにいいことばかりですから!





サラリーマンから農家に

無農薬栽培の  
田んぼと畑で  
土と遊んでいます



Published : 2011.11.08

お名前 : 大澤 進さん 59才 農業・直売所経営  
ご家族 : 大澤 礼子さん 59才 中核地域生活支援センター勤務  
一宮町人 : 2002年～  
先住地 : 横浜市戸塚区

## 移住されるまでの経緯は？

某情報会社のごく普通のサラリーマンとして30数年。

2002年、50才で会社を辞めて移住して来ました。

辞める前の数年間の名古屋での単身赴任以外は、ずっと東京勤務でした。僕は北海道の出身ですが、家内が茅ヶ崎の出身なので、住まいはずっと神奈川県内。

会社では“地球環境を大切にしよう”というセクションの責任者を兼務していたのでいろいろなことを調べていくうちに、手に負えないこともいっぱいあるけれども、“農業”なら自分でもできるのではという思いはありました。

会社でもたまたま一定の年齢になれば自由に定年退職できる「選択定年制度」という制度がありまして。多少退職金もよかったです。

それと娘が二人とも大学を卒業したので、あとは好きなことやらせてもらおうよ、と。その制度のお陰もあって気楽に辞められて農業に入れたということです。妻の理解を得られたのが一番ですけど。

## 農業への転身は大変だったのでは？

歳とってから何かができる、ということが大事だなと思って。

自分で会社を作るとかよりも農家の方が

体に良さそうじゃないですか。

それで健康であればいつまでもできるしね。農業はいいなとずっと思っていたのですよ。

その頃、第二の人生に畑違いのことをやってみる「人生二毛作」という言葉が流行っていた時期で、それに乗せられた感はあるのだけれど。



北海道の田舎育ちで周りはみんな農家でしたし、母親も多少は野菜作りをしていたものですから、農業は自分でも出来るだろうと少し甘く見てましたね。実際移ってきて、さあ畑やれってことになるって何やっていかよく分からない。はたと困ってしまって、東金の千葉県農業大学校というところで新規就農者向けの短期コースがあり、半年間通って実習と学科を勉強しました。

それが農業の基礎。

そこで野菜の作り方や肥料の考え方を学んで。それでなんとかやってゆけそうかなと思ってやりはじめたのです。

## 千葉・一宮にしたのは？

随分あちこち探しましたよ。

神奈川に住んでいたこともあって、消費者が多くいる神奈川がほんとはよかったのだけれど、農地が高くて初期投資が大きすぎる。

で、長野や山梨にも行ったりしたのですが、冬は相当寒いという話を聞いて。

せっかくだから冬場も畑仕事をやってみたいじゃないですか。それで千葉県だと。

土地は何カ所か見にいきましたね。

成田の方から南下してきて、横芝の辺りにいい物件があるというので行ったら、家内が気に入らないとか。成田の方は土はいいけど飛行機がうるさいとか。

それでこの辺りに来たら何となく茅ヶ崎に雰囲気近いよねって話になり。ここなら住んでもいいという家内のお許しが出ました。

元々この一宮町に一人だけ会社員時代の知り合いがいたのです。

その人を訪ねて来てみたら、ちょうど知り合いの知り合いが農地を売ってもいいよという話があり、その人に仲介してもらって無事に購入できました。

## 農家になってみていかがですか？

畑は6反歩弱(約1700坪)、田んぼは4反歩半位(約1350坪)。

基本的には一人でやっています。

家内も最初やる気満々だったのだけれどやってみると「向いてない、農家に嫁に来たわけではない!」と。その代わり外で働いて現金を稼いでくるからということになり。少ないですけど家内の現金収入があるので助かります。今のところ農業だけじゃ食っていけないですからね。少なくとも僕のやり方では。もうちょっと大きくやるとか、専門的にやるとか、もっと熱心にやるとか。実際、ガソリン代や車検代、肥料や種を買うとか経費の部分がやっとな面倒みられるくらいです。金銭的な面から言えば、あのまま横浜のマンションで何もしないでいた方が一番よかったというのが分かりました(笑)。あるいは、その辺りでアルバイトした方がよっぽど儲かります。

しかしロマンのある仕事というか。食べ物を作っているというのはすごく安心感がある仕事ですよ。とてつもなく高いオモチャを買ってしまったようなものなので死ぬまでこれで遊ぶということかな(笑)。楽しんでますね、仲間にも恵まれたし。良かったですよ。

## 直売所もやられていますか？

直売所「菜鮮箱」\*をはじめ7年程になります。いずれ直売所を自分でやろうと思っていたところ、たまたま建物の部材をいただいて。いろいろ買い足したり、近所の人に手伝ってもらってかなり安く建てることができました。他所の直売所に出荷するのは面倒なのですよね。無くなったら届けなくてはいけない、終わったら回収にいかなくてはならない。自分でやっていけば、何が求められているか分かるし。

ここへ来た時に農家の人が「これからは作るだけじゃだめだよ。加工して自分で売るんだ」と。その1次・2次・3次産業を全部一人でやる6次産業でなければこれからやっていけないよって話していて。素材を作っているだけではなくて、やはり付加価値をつけないと値段もつけれない、ということではま

ったくその通りなのですよ。ですから今はちょっとそれに近いことに、といっても味噌とか落花生を煎ったものとかまだその程度ですが。

お客さんは少しずつですが増えてますよ。この直売所が出来てから毎年伸びています。お店をやっていると「こういうのを置かせてくれ」と持ってくる人も多くなってきて。何もしないけどロコミで少しずつ増えていきます。午前中は農作業して、午後は店番しながらなので時間が制約されるのが大変です。どうしても手が回らなくなる時もあるけど、無農薬栽培している農家の人が野菜を持ってきてくれるので助かります。全てが無農薬ではないのですが、誰が作ったものか分かるようにして無農薬か否かはちゃんと書いてあります。

## 無農薬栽培はご苦労も多いのでは？

無農薬は大変です。虫との戦いですからね。ウチの野菜を食べてるうちに虫に慣れたという人もいるし、あまりにも立派な虫が出てきたので飼っています、という人もいるし(^\_^)。

米でもなんでも半分位しか穫れない。半分の出来で2倍で売ればいいのですが、2倍というのはなかなか付けられる値段じゃない。普通に買うよりは少し高いのだけれど、無農薬にしては安いという値段に。ウチの玉子は平飼の有精卵という飼育方をやっています。雄鳥は沢山ご飯を食べるので餌代もかかるし、普通に玉子を獲るだけなら雄鳥はいらないわけですが、そこに命としての完全性が担保されるわけですね。そういうものを目指したいのです。

無農薬栽培でやっていることには確かに支持してくれる人は多いです。でも、人数は絶対的に少ない。無農薬栽培であることが強みなのだけれど強みにまだなりきっていない。もうちょっとお客さんを広げないといけないですね。実際、東京から来たお客さんはごっそり買って行きますからね。

## 地元の方とおつきあいは？

夕方になると近所の農家仲間と飲みに行っちゃう。サラリーマン時代からの癖だね。地元の昔からの農家とも知り合いになれたし、いろいろ教わってやっています。助けてもらったり、機械を貸してもらったり。

ここに来て住んでいるだけだったら友達作るのも大変だったろうけれど農業をやっているとつながりがあって、知り合いは作りやすいし、助けてくれるからありがたいですよ。

周囲の人にほんとに世話になってますね。僕みたいに素人だと機械がちょっと不調になったりすると、もうどうしていいかわからないからね。そういう時に先輩農家に言うて飛んできてくれるからね。農業機械も知り合いが要らなくなった古いものを持ってきてくれるから少しずつ良いものが揃ってきてますよ。

## 新規就農については？

若い人の新規就農は支援がないと出来ないでしょう。子どもを育てながらとかいうと相当大変です。

国がもっと農業について真剣に考えて、例えば、遊休農地を国が買い取って新規就農者には無償で5年間貸すとか。農地を買ったり借りたりというのは大変ですからね。

もし一宮町が行政の柱の一つとして取り組むのであれば、そういうグループを作ればいい。

機械などを共有してやれるような仕組みを作ってやれば入ってきやすくなると思うのですが。



## BDFの活動にも関わっていらっしゃいますね？

天ぷら廃油からディーゼル燃料を再生する「上総BDFプロジェクト」\*の一応、代表になってます。はじめは何もしないでいいからという話だったのですが、今は油の回収までやらされてますよ。回収は大変です。汚れるし。茂原小学校とか中学校、白子、大原のコンビニとか結構遠い所まで行ってるのですよ。

町民提案事業として町からの援助を3年いただき、来年度(24年度)からは補助金なしで自立していこうと。まあまあ順調に回っています。これで儲けてやろうとか余計なことは考えないで、適正な規模で無理なく回収できる範囲の油をメンバーの範囲の中で使っている分には問題ないのですが、これ以上広げるには会社組織にするとか、誰が見てもちゃんとしたプラントにするとかが必要になるでしょうね。

\*「上総BDFプロジェクト」は、町民の皆様からご提案いただいた事業や活動を町が援助する「町民提案事業」の一つです。地域の家庭やレストラン、給食センターなどから使用済みの天ぷら廃油を回収し、BDF(生物由来ディーゼル燃料)として再生させ、ディーゼルエンジンの燃料として再利用するエコなプロジェクト。エネルギーの自給自足、地産地消の一つの方法として注目されています。一宮町役場西側にある朝市直売所と併設された「あぶら屋」さんで回収と販売を行っています。

## この町に住んでみた感想はいかがですか

ここはみんな言うけどいいとこなのですよ、ほんとに。

ちょっと山っぼいのもあり、海もあり、東京にも近い。ただちょっと町の中が淋しいという感じはあるけどね。でも茂原に行けば何でもそろうてるし、苦になる距離でもないでしょ。ここから南へ行くとちょっと不便だよ。雨風強いと電車はすぐ止まるし。

僕の会社時代の友達がこっちに遊びに来てたら「ここはいいところだ」って何人か移住してきて、そば屋さんとか、越してきて農業やってる人もいます。都会で働いていた人で田舎出身の人はここはとても気に入ると思いますよ。

昔から別荘地として栄えたのもうなづけます。また玉前神社を中心に伝統もあるしね。



## 不便やお困りなことは？

不便だなと思うことは、図書館がないこと。公民館や商工会のビルに図書室みたい

なものはあるのだけど。町には図書館が必要だと思うな。

茂原まで前は行っていたのですが茂原図書館が茂原市民以外に貸さなくなってしまって、睦沢町まで行ったりする人もいます。

あとは駅の東口の開設を早くやって欲しいですね。それとホールがないこと。そんなに立派なものじゃなくていいから。役場の建て替えがあるようなので、公民館や図書館、ホールも一緒にして建ててくれれば安くつくのでは。

## 移住を考えている方に一言

移住するというのはすごく大変なことなので、その前に何度も現地に行くこと。

ほんとにそこで暮らせるか。季節や天気も大事だからいろいろなシチュエーションを何度も変えてみて、この町に住む一番の理由は何かというのを自分の中で確認しとかないと。

例えば、町全体が平坦だからいい、というならそれだけでいいじゃない。でもだんだんいろいろ欲しくなってくるのですね。でも、最初「平坦だからいい」と確認しとけば「こんなはずじゃなかった」とはならないと思うのですよね。

あとは積極的に役場とかを利用して、調べて。

遠慮してたらだめ。家を建てる場所にしてもかなり下調べをしとかないと後でちょっとしたことで後悔につながっちゃうから。





仲間といっしょに  
子育てサークル  
今しかない  
“ママライブ”  
を楽しんでいます



Published : 2011.11.30

お名前 : 藤井 幸恵さん 40才 主婦・パート  
ご家族 : 義母68才、御主人44才、長女・小学4年生、  
長男・小学2年生、次女・1才  
一宮町人 : 2006年～  
先住地 : 埼玉県和光市

## 移住されるまでの経緯は？

結婚してから7年ほど埼玉県和光市内の購入マンションに住んでいました。子育て世代が多くて長屋みたいですごく楽しかったです。

その当時、主人の母は川越にいて別々に住んでいましたが、こちらに引っ越すのを機に同居、といいますか同居を機に引っ越したといいますか。一緒に住むに当たっては、ある程度の家の広さと主人の通勤がとりあえずの条件でした。もし同じ金額で埼玉で土地を買って家を建てるとなると本当にうさぎ小屋のような、もしくは本当に不便で、交通の便も悪い所になってしまいます。でも、一宮町だったら東京駅まで1時間で行けて(特急)、都内までの通勤も出来ちゃう。なおかつ広い家に住めちゃう。同居するなら広い方がいいですね。

## 一宮に決めた理由は？

一番の目的は主人のサーフィンです。地縁血縁は全くなかったです。以前から主人は、金曜日の夜、仕事が終わって深夜に出て土曜日の朝方から海に入って土曜の夕方家に帰って来るというのを毎週続けていて。月に4回も休みがそれでつぶれてしまう。寒い時も暑い時も必ず年間通してきてましたから。基本的には主人一人で。私や子どももたまに一緒に来ることもありましたけど、見てるだけで何もすることないです

ものね。でも、こちらに越してきたら朝2時間海入って、あとは全部家族のために使えるのと、今までは海までの交通費を自分で払って来てましたけど、こっちでは通勤の交通費は会社が負担してくれます。それはいいということ。

## 住んでみた感想はいかがですか？

自然が想像以上に豊かで、ちょっと入れば冒険できるところがいっぱいあるし、近所の路地だけでも楽しいですよ。スケボーを道路でやってみたり。ウチは焚火もしますし、そんなの都会では考えられない。「ママ今日焚火しようぜ」って小学4年生が焼き芋やりながら火にあたって「今日学校でこうだった」とか、そんな話をゆっくりできるというのは贅沢ですよ。それが許される環境がまだ残っています。子ども達には泥んこになって遊ぶ経験をいっぱいして欲しいし、海もあるし、ちょっと行けば山もあるし、いこいの森で遊んだり、川もあるし、ほんとになんでもあるなあ。

お祭りや地曳き綱があったり、自然が豊かで、庭で畑作って野菜育てて。エンゲル係数すごく低くなりましたよ、(^O^)/。いただきものも多いです。ありがたいですね。庭で採れた野菜や、春になるとタケノコが来たり、秋は柿とか。そういうことを子ども達にも知ってもらいたい。マンション住まいの頃もそういうやり取りは多少あっ

たのですが、隣近所に誰が住んでるか分からないというのもありましたから。防犯上みんな知ってるというのがこの上ない防犯ですよ。ウチの子が一人で歩いていてもみんな知ってれば安心ですよ。ほんと一宮っていう町で良かったねって話してるのですよ。

## 子育てサークルをはじめたのは？

以前住んでいた和光市は、財政的に余裕があって、子育て支援が進んでいました。マンションがぼんぼん建って若い子育て世代がわっと入ってきました。公的なサービスもあれば、ママ達が自主的に起こしているサービスもあって、私もすごくそれで助けられました。それをずっと“こんな風に人のために出来てすごいな”と見ている側だったのです。

こちらに来たら少しは恩返しではありませんが、私があの時子育てでとても辛かったので、そういうママがいたら何かできることないかなと思っていたら、一宮には子育てサークルがなかったのです。

ママ達がどこにいるかも分からない、どこの病院がいいとか、みんなどこで遊んでいるのか、ここの保育所はこんな感じだよとか、できれば口コミで教えて欲しい。紙で病院や保育所の一覧表はありますけど評判は書いてない。私の場合はたまたま運良く友達ができたので。でも、友達がまだ

出来なくてどこでどうやって、と探しあぐねているママがいっぱいと思うのです。

ママライフというその時にしかない貴重な時間を楽しめなかった。それをすごく悔いてます。「今だけだよ！」ってほんとみんなに言いたいのです。ちゃんとできなくてもいいじゃない、もっとダメでもいいじゃない、一生懸命まじめにならなくてもいいじゃないって。「138子育てネットワーク」\*は私みたいなダメなママの視点から出来ているのです。

\*「138 (いちのみや) 子育てネットワーク」は、子育てをもっと楽しく、もっとみんな(地域)で関わり、つながりを持てる様に、子育て当事者と共に情報を共有、発信し、子どもを中心とした交流(ネットワーク)の輪を広げていくことを目的に活動しているグループです。町づくり推進団体にも登録し、町民提案事業として「子育ておしゃべりサロン」を実施。その他、「座・井戸端会議with町長」などの交流活動、「放課後わくわく委員会!」やプレーパークなどの遊び場作り、在宅育児支援としていろいろな子育てサークル立ち上げの応援などを行っています。

## 町のこれまでの子育ての環境は？

普通ですと行政主体の何歳児から何歳児対象のサークルでだんだん顔見知りになっていたりするのですが、こちらだと子育てが一段落するとあとは保育所に入れて働きに出ちゃうとか。保育所にすぐ入れられる体制があるから、いい環境といえればいい環境なのかもしれませんが、その分ママ同士の結びつきが弱いような感じがします。それに核家族で越してきた人からすると、フルタイムで働くには今の保育時間では短いし、かといって保育所に入らないと子どもの友達がなくなってしまう。

町には幼稚園がないので保育所に入れてもらっています。以前、幼稚園に居たからよく分かるのですが、幼稚園並のカリキュラムを保育所でやってくれているのです。幼稚園は保護者ありきで行事の度にお手伝いするのが当たり前なのですが、保育所は発表会の衣装とかも先生方に頼りっぱなしです。片やお母さんからすると「もう手がかかるから入れちゃえ」と割と安易に入

れてしまっているのかもしれませんが。

でも、ちょっとそれは保護者としては考えてみないといけないと思うのです。せっかく今しかない時間を、せめて年少さん、3才までは入れる必要のない方や、在宅で見られる方は見ていただいてそのための受け皿を用意してあげたら、みんな闇雲に保育所に入れなくてもよくなるのではないかと、子育てサークルをやっているところですね。

一宮町が一宮町として自立自営の道を選んだのなら、私も町民の一人としてその行く末を見届けないと、子ども達に対して責任がある。子ども達のふるさととして親である私がこの町を選んだのですから。「あなたのふるさとはどこ？」って聞かれたら胸を張って「一宮です！」って言えるようにしないといけないなっていう想いが常にあります。「一宮ってすげえいいとこなんだよ」「俺はこの町が大好きなんだよ」っていうようになって欲しいのです。

## 子育てサークルはどんな活動を？

最初は内輪で遊んでいたのですけれども、人数もだんだん多くなって、家の中に30人とか、クリスマスパーティをやった時は40人位でしたね。実際お話を聞いてみたら「お友達の家に来るのはじめて」って子がいたり、こんなクリスマス会をみんなで行ったことなかったとか。びっくりしました。(・O・;

でも、これはもう児童館状態ですよ。そろそろ考えなくてはと思ってはいたのですが、中央公民館はお金がかかるし当時は飲食も不可で。地区の集会所は無料で飲食もOKでしたが、その地区の人しか使えない。どこで集えばいいのだろうと、場所も無かったのです。

今一宮町では子どもの数が増えていますよね。それはすごく追い風になって、子育てサークルも去年7組からはじまって今年は28組になりました。まだ知らない人にもこういう活動があるよって知ってもらいたいと思い、「138子育てネットワーク」として町づくり推進団体に加わり町民提案事業として活動をはじめて3年になります。やっている事業は、在宅育児支援、交流

事業という位置づけで「わいわいカフェ」、子どもの遊び場作りとしてのプレイパークという3本の柱があって、サークル部門はお母さんたちが自主的にがががやっやっやっって欲しいですね。

文句ばかり言うのはかっこ悪いから。子どもにそういうのは見せたくなくて。だったら自分で出来ることからはじめよう。みんながそう思ってくれて自分達で自主的に動くようになってもっと素敵だな、と思う。今、町に児童館がないですけど、児童館作って下さいと町に言うより、自分達で遊んじゃって“なんちゃって児童館”をやっている方が早いし、それで子ども達が楽しいのであれば、箱(施設)は何でもいい。要は子どもの目がキラキラしてればいいので。子育ては待たないですから、いつになるか分からないものを待っていても、その時期を逃してしまうだけですからね。

## 今後の活動は？

他の団体や活動とも横のつながりが出来てきました。お母さん達にとっては憩いの場になっているコミュニティカフェ「子育て茶屋」さんとか、「さくらんぼ」さんがいるので、一緒に出来ることは連携して。いずれ私がママじゃなくなった時には次の世代の人が受け継いでくれるかな。その今は土壌作り、耕してる感じですね。あとは種を蒔いてそれがいつの日か実ってくれば。誰か任せ、人任せで文句を言うのじゃなくて自分達で動かしなうという人が一人でも増えてくれれば。子どもがそういう親を見て育ってほしい。まだ下の子が1才なのであと10年位は当事者として子どもとべったりつきあいたいですね。子どもが「もういやっ！」て言うくらい(^\_^;。



## 移住を考えている方に

ウチに遊びに来たお友達は「いいないいな」って。で、ほんとに越して来てしまった人もいるくらいですから。普通に家でバーベキューできたり、お友達を呼んで泊っていけるお部屋があったり、そういう豊かな住環境。海が近いからお魚もおいしいですし、お野菜も自分達で作ろうと思えば作れるし、新鮮なものをお安く買えますし。

子どもにとってはのびのびと育ていける環境なので、子育て世代の方が増えてくれるのは同世代としてうれしいです。

ご年配の方で第2の人生をこちらでという方には病院とあとは運転できなくなった時どうするのか、それを町がもうちょっと取り組んでいただいて、そしたらずっと住める場所だと思います。

私は大好きな町です。ほどよく、ちょうどよく。ほどほど感がいいです。



vol.  
09

海のちかくで

夢かなって  
海の見える  
カフェ経営  
最高の  
ローカルスタイルを  
楽しんでいます



Published : 2012.1.30

お名前 : 小原千佳さん 40才 飲食店経営  
ご家族 : 高橋浩二さん 44才 プロサーファー  
一宮町人 : 千佳さんの場合2009年～  
先住地 : 東京都

## 一宮町に移住してきた経緯は？

**千佳さん**：ちゃんと移住して来たのは2009年です。その数年前、仙台からこちらに移住したいと思っていたのですが、仕事が無かったので、とりあえず彼（浩二さん）の東京の実家と一宮に借りていた部屋があったので、東京で仕事をしながら休みの日はこちらにサーフィンをしに来るといって、行ったり来たりの状態が続きました。東京ではIT関係の会社に3年半ほど勤めましたが、田舎で育ったので、東京の生活は合わなくてちょっと大変でした。その点、一宮は自分が育った環境に近い感じだったので、やはりこちらの方が落ち着くということで、移住して来ました。やっぱり海が

好きだし、彼はプロサーファーですから。私自身、ずっと海のそばに住みたいと思っていましたから。

**浩二さん**：一宮にはサーフィンのために通いはじめて30年近い付き合いです。14才からボードを抱えて電車できたり、東京の実家近くにあったサーフショップの先輩の車に乗せてもらったりして。ここ太東のポイントはロングボード向きのポイントで「ロングボードの聖地」と言われるくらいです。ロングと言ったら太東です。部屋を借りて住み始めたのが'95年頃からですから、もうかれこれ17年位になりますね。ここ太東のポイントは、波が小さくても大

きくても出来ない日がない。コンスタントに波があって、コンディションがそこそこいい。一宮には死ぬまで住もうかなって思ってますよ。この波がある限り。

## お店を持つまでの経緯は？

**千佳さん**：海の前でお店をやるのがほんとに長年の夢でした。そのために仙台にいる時も飲食店で働いて修行したりしていました。そのうち彼とつきあいはじめて、東京でOLしながら一宮町に通いだして。元々、彼がこのお店を住居として借りていて、こんなところでお店が出来たらいいな、と少し考えたこともありましたが、でも、現実

的には難しいと思っていたところに、ふとしたきっかけで、回りの人からやってみたらって背中を押されて。いろいろな縁があってお店を開くことになりました。念願だった夢が叶って最高です。

**浩二さん**：僕は最初、店をやるのは嫌だったのです。自分はあまり客商売に向いてないと思っていましたから。でも今はそうでもないです。慣れましたね。料理とかは僕がほとんど作ってますよ。



## ご商売の方はいかがですか？

**千佳さん**：夏場はかなりのお客さんと賑わいますが、冬場はほんとに人が少ないので、商売的には大変です。人もいない、車の交通量も少ないし。移住している人も多いのですが、東京の方から通ってる人が多かったのだと改めて気付きましたね。サーファーの中には、部屋としてシェアして借りている人って多いですね。でも、やっぱり寒いから東京からそうそう来ないですよ。

それに南の方の御宿の方が風向きが良くなるし暖かいので、冬はあちらに行く人が多いですね。波がいいとこちらにも来るのですが。

## 他にやりたいことは？

**千佳さん**：時間が足りない感じです。1日30時間くらい欲しいですね。もっと時間があれば、やっぱり海に入って。他には、いろいろなところに行くのが好きなのでドライブしたり、山に行ったり。店に多いので、この地域もまだ見ていないし、こっちは山はどうなっているのだろうかとか、もっと散歩したりもしたいですね。

せっかく越してきたので。もう2年住んでますけどほとんど知らないのですよ。

## 町に住んでみた感想は？

**千佳さん**：お店を通して、こんなに色々な人が、色々な職種で、住んでいるのだと改めて思いました。

結構、子どもを持つ若いご夫婦も多いですよ。移住したばかりで知り合いがいなかった人が、このお店で知り合いになってつながっていったり。サーフィンだけでなく、音楽をやりたいと移住して来た人もいますし。

面白いのが、移住してきた人も元々住んでいる人も、一宮町の人とか、岬町の人、大原の人みたいに、町ごとに誇りや愛着を持っていて、そういうのがいいですね。それで音楽やサーフィンを通してつながったり。みんな意外とその町を盛り上げたい、みんなで町おこしなど、何かできたらなあといつも考えています。

私が宮城の出身なので、震災の時には皆さんのご厚意で集まった物資をあちらに届けたり。その後も、アーゴプロジェクトさんが部屋を提供してくれたりして、仙台の人をこちらに受け入れたり。海を通して、仙台とここをつないでいきたいと考えています。

## 一日の過ごし方はどのような？

**千佳さん**：朝起きて、お店の準備をして、ランチをやって、休憩に入ります。そして、買い出しに行ったり、お店の内装もまだやっているのじじったり、夏に向けての準備をしたり。波乗りはその合間に、午後、夕方に入っていることが多いですね。ディナータイムを午後6時からやって通常平日午後10:30で終いなのですが、遅い時間に来る人も多いので午前1時2時になったり。そういうサイクルで、ほとんどお店に時間を費やしてる感じです。忙しいですが、充実した毎日です。

定休日はゆっくり、と思っているのですが、でもやっぱり買い出しに行ったりしてるかな。時々、他所のお店に食べに行ったり勉強したり。私は趣味でゴスペルをやっている

ので月に1~2回は東京に行ったりしています。

**浩二さん**：お店をはじめてからは波乗りの時間は減りましたね。でも、減った分、逆に集中してやったりするから、これはこれでイイかなと思ってます。

冬でもサーフィンスクールはやってますし、なんだかんだ言って年中海に入ってますね。

## 移住を考えている方に一言

**浩二さん**：いいところですよ。住んでいる人達がいい感じですよ。いろんな国から集まって。外国の人がいろんな国を旅して来て、日本中も旅して来て、ここが一番イイって住み着いてる人が結構いるのですよ。その外人さんの中には、東京の外資系とかIT系の仕事をしていたりして、経済的にも時間的にも余裕のある人達も多いですね。

**千佳さん**：私も移住する前の1年ほどはこちらから東京・新橋の職場に通っていました。快速に乗って一本で、座って1時間半位なので、通える距離でした。

やはりサーファーにとっては住みやすいところだと思います。あとは、いろんな仕事があればもっとみんな移住できると思うのですが。ですから、こんな仕事があるとか、東京へでも通勤できるとか、そういう情報があるといいですね。住みたいと思っている人はいっぱいいると思いますけど、現実問題として働く場所がないとなかなかね。

私は海の目の前で、毎日波を見られるところに住むのが夢だったので、ここはすごく理想的なところですよ。念願だった生活なので、大変なこといっぱいありますけど、すごく楽しいです。

もし、こういうローカルスタイルに興味があるのでしたら、移住をする前にも是非見に来てほしい。このお店に遊びに来てもらってもいいし、いろいろ見てもらって、来てもらいたいですね。大変だけど楽しいし、時間がゆっくりしてますね。自然と共にある町なので、生きてる実感がすごくある、そういうライフスタイルに興味のある方は来て体験してみたいですね。



定年までの8年間  
東京への電車通勤  
座って寝て行け  
最高でした！  
ここはいい！



Published : 2012.1.31

お名前 : 古厩 晃 (ふるまや・あきら) さん 68才  
ご家族 : 4人家族  
一宮町人 : 2001年～  
先住地 : 埼玉県越谷市

## 一宮町に移住された経緯は？

移住してきたのは11年前(2001年)になります。まだ現役時代の時、気分転換に御宿にでも行こうと、九十九里有料道路を車で来て終点に着いた瞬間、「お、ここはいい」と感じましたね。ここが一宮町だと実は全く知りませんでした。

その足で早速(上総一ノ宮)駅前の不動産屋さんに行って、冷やかし半分のつもりで3軒ほど見せてもらって、最後の1軒の門の前に立ったら「これだ！」という感じで決めてしまったのです。その場で手付けを払って、その1ヵ月後には越して来てしまいました。

## 一宮町を気に入った点は？

やはり空気が全然違いますね。妻の両親と一緒に連れて引っ越して来たのですが、越谷の時は空気が悪いせいか病気がちだったのが、こちらに来たらびんびんしてしまって。じいさんは90才まで生きたし、ばあさんは88才まで。海からの風が体にいいのしょうね。企業や組合の保養所がたくさんあったのも、うなずけます。

それと海と広い砂浜もいいですね。以前はもっと広がったらしいですけど、今でも他所と比べれば広い方ですよ。もっといいのが、野菜が旨い。特にトマト。果物は長生メロンがあるでしょ。それとナシ。埼玉にはないですからね。もっと好きなのが花です。花の値段も埼玉

と比べるとこちらの方が3～4割安いです。前から花が好きで家中に植えるのが好きだったので。

住まいが一宮川から少し入ったところにあるのですが、川沿いの景色もきれいですね。気に入ってます。

## しばらく東京への通勤が続いたようですが？

引っ越した翌日から通勤です。びっくりしたのが上総一ノ宮駅が発着なのです。全然知りませんでしたから。京葉線快速で1時間半で東京に着いてしまうのです。これなら座って寝て行けます。特急だと1時間です。これはいいところに来たと思いました。65才まで銀行勤めでしたから、8年近くここからの通勤生活を体験しましたが、最高でしたね。越谷の時は、満員電車で1時間グューグュー詰めでしたので、気分が悪くなりました。

## 移動の手段は？

今のところ車中心ですね。あとは、電動自転車があります。電動自転車はすごいですよ。陸橋を超えるのだから楽勝なのです。千葉県は渋滞もないし、信号も少ない。ドライブもすごく楽しいですよ。千葉にはドイツ村もあるし、房総フラワーロードもあるし。千葉県の道の駅はほとんど行ったかな。

## 趣味や楽しみは？

退職してからまだ3年ほどしか経っていませんが、老後を楽しんでいますよ。散歩で海岸をよく歩いていますね。30分コースと1時間コースがあって。釣も好きなので、海釣りに行って堤防で釣ったらテトラポットにひっかけて、それでお仕舞いです(笑)。

妻が花を植える方で、僕はもっぱら草むしり専門です。あとは畑を少し。近くに畑を借りてやっています。安納イモを作ったり。美味しいですよ。孫が通う保育所に苗を50本寄付して、園庭にある畑で育ててもらって。子ども達もイモ堀りを楽しんでいましたね。

陶芸は茂原にある生涯大学で習っていて2年になります。夫婦で当選したのはウチだけだったのです。妻の方は一宮の陶芸教室にも通ってますけどね。私はロクロでなくて手びねりのひも作りばかりです。上手なものより味のあるものを作りたいですね。

温泉施設もよく利用していますよ。長生村にもありますが、市原まで行ってます。綺麗だし、岩盤浴が最高に気持ちいいですよ。月に1度は行ってます。一宮にも温泉施設があるといいなあ。是非、誘致して欲しいですね。



## お問い合わせ

一宮町役場 まちづくり推進課 ☎ 0475-42-2113 受付：9:00 - 17:00（休日：土日祝）

当サイトの運営／管理、移住定住相談窓口です。  
移住に関するご相談はお気軽にお問い合わせください。

一宮町役場 産業観光課 ☎ 0475-42-1427 受付：9:00 - 17:00（休日：土日祝）

町内ではたくさんの観光イベントを開催しています。  
観光イベントなどについてはこちらまでお問い合わせください。  
また農業や商工業についてもこちらまで。

一宮町役場 教育委員会 ☎ 0475-42-4576 受付：9:00 - 17:00（休日：土日祝）

一宮町には町立小学校が2つ、町立中学校が1つあります。  
町内の教育のことについては、こちらまでお問い合わせください。

# イベントカレンダー

伝統行事、サーフィン大会、フリーマーケットなど  
地域密着型の情報満載！  
一宮町はいつも元気いっぱいです！

## 2011年イベント実績

- 04月03日 ビーチクリーン
- 04月10日 上総伝統郷土芸能共演会
- 04月17日 一宮町商店街マルシェ
- 04月24日 上総国さすが市
- 05月01日 一宮ネイチャークラブの田植え
- 05月04日 ハレカイマーケット
- 06月19日 玉前神社の禊
- 07月03日 八雲神社お祭り
- 07月09日 千葉チャンピオンシップ2011
- 07月10日 第3回いいもんうまいもん市
- 07月14日 宮薙あんどん祭り
- 07月15日 玉前雅楽会
- 07月17日 第4回エコサーフカップ
- 07月31日 一宮地曳き綱
- 08月06日 一宮納涼花火大会
- 08月07日 一宮地曳き綱
- 08月08日 第15回憩いの森であそぼうよ～！
- 08月13日 一宮地曳き綱
- 08月14日 月見の宴・雅楽演奏会
- 08月16日 一宮川灯ろう流し
- 08月21日 3rd Kid's Surf Contest
- 09月11日 上総国一宮まつり
- 09月13日 十二社 (はだか) まつり
- 09月24日 いちのみやロコマーケット  
JPSA千葉オープン
- 10月30日 上総国さすが市
- 11月03日 一宮商工祭  
ギネスに挑戦



最新イベント情報は  
一宮町観光協会のホームページを  
ご覧ください

<http://www.ichinomiya.org/>

---

<http://ichinomiya-iju.jp/>

千葉県長生郡一宮町役場 まちづくり推進課(直通)  
一宮町移住定住相談窓口

☎ **0475-42-2113**

〒299-4396 千葉県長生郡一宮町一宮2457